

令和3年度東海農政局地産地消等優良活動表彰受賞者の取り組み概要

部門の種類	受賞者の名称	取り組みの概要	取り組みの様子
生産部門	めぐみの農業協同組合 春里支店	- めぐみの農業協同組合春里支店では、「農地の所有者にできる限り農業を続けてもらい、さらに後継者につないでもらうことが、休耕農地を減らすとともに、地産地消にとっても大きな鍵となる」との考えの下、これを実現するため、「小さな農をすすめる活動」を推進。具体的には、新しい地域コミュニティとして「おいしい枝豆を育てる」という分かりやすい目的を掲げ、専業農家から家庭菜園愛好者まで、男女問わずさまざまな方が参加できる新しい形の組織をJAで提案。これに賛同した方々が集まった「春里枝豆を育てる会」を設立。収穫した枝豆は会員で楽しむだけでなく、地元の直売所へも出荷。 - 活動3年目である令和3年度には、 ① 小さな農の活動として、野菜苗のプレゼントを継続 ② 直売店での出荷を前提とした栽培体系作りと出荷実現 ③ 食農活動と枝豆栽培連動（児童が、春里枝豆のキャラクター考案＝出荷シールとして採用） ④ 春里小学校児童対象の枝豆授業を継続等を実施した。	 春里枝豆を育てる会のみなさん  春里キッズ農業体験
教育関係部門	東郷町 給食センター	- オーガニックな給食を目指して関係者が定期的に情報交換を行い、小中学校と保育園の給食で使用する食材に地元産の有機野菜を積極的に取り入れ、より安全安心な給食を提供している。 - 使用する有機野菜は、保護者負担の給食費ではなく町事業として負担し、献立の品数やデザートの提供回数を減らさないようにしている。 - 有機栽培農家の協力により、収穫体験や交流給食を実施している。（令和元年度に実施。令和2年度はコロナ禍により未実施） - 有機栽培食材に要する費用を町事業で負担することにより、有機栽培農家の所得が一定程度確保されている。 - 学校などの給食に有機栽培食材を取り入れることで、消費拡大につながっている。 - 子どもたちが有機野菜の収穫体験や生産者との交流給食を行う中で、子どもたちと生産者が触れ合う機会が生まれ、農業への理解促進が高まっている。	 給食で使用している有機野菜  有機農家での収穫体験